SRG-300SE/301SE/201SE

リリースノート

Ver. 3.0.0

2017/10/13

Sony Corporation

変更履歴

#	リリース日	バーション	主な変更内容及び、コメント
1	2015/04/10	2.0.0	SRG-300SE/301SE Ver2.0.0 リリース
2	2017/1/25	2.2.0	SRG-300SE/301SE Ver2.2.0 リリース
3	2017/04/25	2.3.0	SRG-300SE/301SE Ver2.3.0 リリース
4	2017/10/13	3.0.0	SRG-300SE/301SE/201SE Ver3.0.0 リリース

目 次

1. 本リリースバージョンについて 4
1.1. 全般について 4
1.2. ソフトウェアバージョンアップ方法について 4
1.3. 動作環境について 4
1.4. 互換性について 4
2. 新規追加機能 5
2.1. Ver. 3.0.0 で追加した機能 5
2.2. Ver. 2.3.0 で追加した機能 5
2.3. Ver. 2.2.0 で追加した機能 5
2.4. Ver. 2.0.0 で追加した機能 5
3. 仕様変更 5
3.1. Ver. 3.0.0 で変更された仕様 5
3.2. Ver. 2.3.0 で変更された仕様 5
3.3. Ver. 2.2.0 で変更された仕様 5
3.4. Ver. 2.0.0 で変更された仕様 5
4. 改善項目 5
4.1. Ver. 3.0.0 で行った問題点の改善 5
4.2. Ver. 2.3.0 で行った問題点の改善 6
4.3. Ver. 2.2.0 で行った性能改善 6
4.4. Ver. 2.0.0 で行った性能改善 6
5. 設定における注意事項について 6
5.1. ストリーミングにおける注意事項 6
5.2. 画像コーデック設定 6
5.3. SNMP について 7
5.4. CGI を直接利用する時の注意点 7
5.5. 自動レート制御設定に関する注意点 7
5.6. HTTPS を使ったバージョンアップに関する注意点 7
6. 既知の問題点について 7
6.1. ユニキャスト・マルチキャストポート番号設定における注意事項 7
6.2. SSL 機能を有効に設定している場合にアップグレードを行うときの注意点 8

1. 本リリースバージョンについて

1.1. 全般について

本バージョンは、Ver.3.0.0 になります。

1.2. ソフトウェアバージョンアップ方法について

カメラのソフトウェアを本バージョンにバージョンアップするには SNC toolbox V.1.5.0 以降をお使いください。バージョンアップ手順につきましてはアプリケーションガイドをご覧ください。

1.3. 動作環境について

カメラの映像を見たり、制御したりするコンピューターには、次の動作環境が必要です。

- OS
  Microsoft Windows 7(32bit 版、64 bit 版)
  Microsoft Windows 8.1 Pro(32bit 版、64 bit 版)
  動作検証済みエディション: I
  Windows 7 : Ultimate、Professional
  Windows 8.1 : Pro

  Microsoft DirectX 9.0c 以上

  Windows 8.1をお使いの場合は、デスクトップユーザーインターフェース（デスクトップUI）版のInternet Explorerをご利用ください。

- Web ブラウザ
  Microsoft Internet Explorer Ver 11.0
  Firefox Ver.54.0 (プラグインフリービューアーのみ対応)

  Google Chrome Ver.60.0 (プラグインフリービューアーのみ対応)
- CPU
  :Intel Core i7、2.8 GHz 以上
  または、Intel HD Graphics 内蔵のIntel Core i3 ／ Intel Core i5 ／ Intel Core i7
- メモリー
  2 GB 以上
- ディスプレイ
  1600 × 1200 画素以上

1.4. 互換性について

本バージョンでは、Ver. 2.3.0 において提供した機能に関し、CGI コマンド、RTSP その他のネットワークプロトコル、ストリーミングに関するデータフォーマットにおける変更はありません。外部接続機器との相互接続性に対して Ver. 2.3.0 との互換性があります。

2. 新規追加機能

2.1. Ver. 3.0.0 で追加した機能

- TLS 1.2 対応
- 機器情報のダウンロード機能対応
- セキュリティの強化対応

2.2. Ver. 2.3.0 で追加した機能

- セキュリティの強化対応
  【ご注意】ActiveX のインストールに失敗する場合は、最新の Windows セキュリティパッチを当ててください

2.3. Ver. 2.2.0 で追加した機能

- セキュリティの強化対応

2.4. Ver. 2.0.0 で追加した機能

- Visca Over IP 対応 (RM-IP10 互換)
- 画像サイズ 960x536 追加

3. 仕様変更

3.1. Ver. 3.0.0 で変更された仕様

- クライアント認証を使用する場合に、個人用の証明書のインポート方法を一部変更しました
  個人用の証明書をインポートする際は、途中で表示される「このキーをエクスポート可能にする」にチェックを入れてインポートを行ってください。このチェックを入れることで、ローカルコンピューター上で、秘密鍵と証明書のエクスポートを行うことができるようになります。エクスポートしたファイルが流出しないよう、厳重に管理するようにして下さい。
- 一旦、本バージョンにアップデートを行うと、ダウングレードができません

3.2. Ver. 2.3.0 で変更された仕様

- マルチキャストストリーミングのセッション数の上限を 4,096 に変更しました
- Capability-video.cgi の応答速度を改善しました

3.3. Ver. 2.2.0 で変更された仕様

- なし

3.4. Ver. 2.0.0 で変更された仕様

- なし

4. 改善項目

4.1. Ver. 3.0.0 で行った問題点の改善

- カメラの電源投入後、RTSP ストリーミングを取得することがまれにできない場合がありましたので、修正しました。
  (Ver.2.3.0 からの問題、Ver.3.0.0 にて対策)

4.2. Ver. 2.3.0 で行った問題点の改善

- RTSP マルチキャストストリーミングを使用する場合、最初に接続したセッションを切断せずに次の接続と再生を実行すると、カメラからの応答が無くなる問題がありましたので、修正しました。
  （Ver.1.0.0 からの問題、Ver.2.3.0 にて対策）
- RTP over RTSP でのストリーミング接続において、まれに途中で通信が切断されてしまう問題がありましたので、修正しました。
  （Ver.1.1.0 からの問題、Ver.2.3.0 にて対策）
- 最初にユニキャストストリーミングの接続を開始し、続けてマルチキャストストリーミングの接続を行うと、2 本目以降のマルチキャストストリーミング接続ができなくなってしまう問題がありましたので、修正しました。
  （Ver.1.0.0 からの問題、Ver.2.3.0 にて対策）
- 画像コーデックを“JPEG”、ビットレート制御モードを“CBR”に設定して RTP ストリーミングを行うと、映像が白っぽくなってしまう問題がありましたので、修正しました。
  （Ver.1.0.0 からの問題、Ver.2.3.0 にて対策）
- カメラの通信が突然切断される問題がありましたので、修正しました。
  （Ver.1.0.0 からの問題、Ver.2.3.0 にて対策）
- RTP ストリーミングのセッションが切断されずに、まれに残ってしまう問題がありましたので、修正しました。
  （Ver.1.0.0 からの問題、Ver.2.3.0 にて対策）
- RTSP over TCP ストリーミング接続中に LAN の切断が繰り返し発生する環境で、まれにカメラが再起動する問題がありましたので、修正しました。
  （Ver.1.0.0 からの問題、Ver.2.3.0 にて対策）

4.3. Ver. 2.2.0 で行った性能改善

- なし

4.4. Ver. 2.0.0 で行った性能改善

- システム処理の負荷が高い状態において、リモートコントローラによる PTZ 操作のユーザービリティーを向上した。
  （Ver.1.0.0 からの改善）

5. 設定における注意事項について

5.1. ストリーミングにおける注意事項

- JPEG ストリーミングの帯域制限

“ビデオ/オーディオ”メニューの“ビデオコーデック”タブの“帯域制限”機能は HTTP 呼制御により開始された JPEG ストリーミングに対してのみ有効です。

5.2. 画像コーデック設定

- 画像コーデックパラメータを変更する際の注意点

“ビデオ/オーディオ”メニューの“ビデオコーデック”タブにおいて、画像コーデックの選択および各パラメータの変更は、変更しようとしている項目以外のパラメータの組み合わせにより選択できない場合があります。これは、カメラのリソース制約を超えた設定値を選択肢として表示しないためです。希望する設定値が設定値リストボックスにない場合、変更しようとしてい

る項目以外のパラメータの設定値を下げた後、再度希望設定値がリストボックスに現れないか確認してください。”OK”ボタンをクリックすると、メニュー画面上の設定値がカメラに反映されます。

- フレームレートを 60 または 50 fps に設定してカメラをご使用になる場合、ビデオ/オーディオ設定画面の下記タブを開いていると映像の遅延がおおきくなることがあります。
  - 画像タブ
  - スーパーインポーズタブ
- フレームレートを 60 または 50 fps に設定してカメラをご使用になる場合、ビットレートは 8Mbps 以下でお使いください。
- フレームレートを 60 または 50 fps に設定してカメラをご使用になる場合、画像コーデック 2 やオーディオを有効にする・複数のクライアントアプリケーションにストリーミングを行う、等の条件下にて以下の症状が発生することがあります。
  - 映像の遅延がおおきくなる
  - 映像再生時にフレームスキップが生じる。
  - 音声が途切れ途切れになる。
  - さまざまなコマンドに対しカメラの応答が遅くなる。

  このような場合ビットレートを下げる・画像コーデック 2 をオフにする・同時配信ストリーミング数を減らす・オーディオをオフにするなどの対応を行ってください。

5.3. SNMP について

- Link local address が Authentication failure における agent-address として通知されます。
- カメラを DHCP・SNMP v1 の組み合わせで設定した場合、Link local address が Cold start トラップの agent address として通知されます。
- SNMP v3 でサポートしている認証方式は MD5 のみです。
- SNMP v3 では起動直後の Cold start と Link up のトラップは取得できません。

5.4. CGI を直接利用する時の注意点

ビットレート、タイムゾーン設定等において、設定画面 GUI がサポートしていない値を、カメラに CGI を使用して設定した場合、設定画面 GUI では設定した値を正しく表示することができません。このような場合、CGI の問い合わせコマンドを使用して設定した値を確認してください。

5.5. 自動レート制御設定に関する注意点

自動レート制御では最大値、最小値が設定可能ですが、設定されている画像サイズ、撮影シーン、ネットワーク環境などによっては、実際に配信されるビットレートは設定を上回る、または下回る場合があります。

5.6. HTTPS を使ったバージョンアップに関する注意点

HTTPS でバージョンアップを行うとアップデートが完了しないことがあります。
その際には HTTP で再度バージョンアップを行ってください。

6. 既知の問題点について

6.1. ユニキャスト・マルチキャストポート番号設定における注意事項

“ビデオ/オーディオ”メニューの“ストリーミング”タブにおいて、“マルチキャスト配信機能”に設定

されているポート番号を“ユニキャスト配信機能”のポート番号に設定することはできません。同様に、“ユニキャスト配信機能”に設定されているポート番号を“マルチキャスト配信機能”に設定することもできません。
“ユニキャスト配信機能”と“マルチキャスト配信機能”それぞれのポート番号を同時に変更しようとする場合、それまで使用していたポート番号を異なる配信機能の番号に設定しようとすると設定が反映されません。この場合、“ユニキャスト配信機能”のポート番号、“マルチキャスト配信機能”のポート番号を分けて設定してください。

【例】
“ユニキャスト配信機能”ビデオポート 1=50000
“マルチキャスト配信機能”ビデオポート 1=60000
に設定されているとき
“ユニキャスト配信機能”ビデオポート 1=60000
“マルチキャスト配信機能”ビデオポート 1=50000
の設定変更が一度にできません。

“ユニキャスト配信機能”ビデオポート 1=50100
に一旦変更したのち
“ユニキャスト配信機能”ビデオポート 1=60000
“マルチキャスト配信機能”ビデオポート 1=50000
へ変更してください。

6.2. SSL 機能を有効に設定している場合にアップグレードを行うときの注意点

アップグレードを行うときは、SSL 機能を無効にしてください。
デバイスの SSL 機能が有効の場合、デバイスに対する操作が正常にできないことがあります。その場合は、SSL 機能を無効にするようにお願いします。
対象外のバージョンへアップグレードした後は、SSL 機能を有効にすることで、SSL 機能が正常に動作するようになります。
対象となる機種とバージョンは以下の通りです。
対象機種：対象バージョン
SRG-300SE/301SE：Ver 2.3.0